

特集① かけがえのない『ボランティア』の皆さまへ



ご利用者と職員の気持ちを乗せて…
手作りのメッセージカード

2019年に開催した「笑顔でつなぐ皆さまに感謝するつどい」に参加されましたボランティアの皆さまの紹介ポスターです（一部抜粋）

特集① かけがえのない『ボランティア』の皆さまへ

「笑顔でつなぐ皆さまに
感謝するつどい」とは？

年間延べ3000人以上のボランティアが活動する楽友会。ボランティアの皆さまには日頃から様々なイベントでの活動、シーツ交換などの介護補助業務、傾聴活動や趣味生きがい活動の教室など、多岐にわたって法人運営にご協力をいただいております。

当法人では、法人運営にご協力を頂いているボランティアの皆さまに感謝を込めて、「笑顔でつなぐ皆さまに感謝するつどい」というイベントを毎年開催しております。しかし、100年に一度のパンデミックといわれる新型コロナウイルスの影響により、昨年度の開催は見送り、そしてまた今年度の開催も断念せざるを得ませんでした。

ボランティアの 皆さまに感謝の気持ちを

残暑も厳しい8月の終わり、ちょうど都内の新型コロナウイルス新規感染者数がピークを迎えた頃、「笑顔でつ

なぐ皆さまに感謝するつどい」の実行委員会が開かれました。今年度の委員となった12名の職員が集まり、コロナ過での開催について検討した結果、残念ながら今年度も開催は見送ることとなりました。新型コロナウイルスの状況を考えると仕方ない決断でした。「会の開催はできない。でも、何かできないのかな？」という委員会での意見から、「ボランティアの皆さまにまず感謝の気持ちを伝えよう」ということになり、職員の手作りにこだわった直筆のメッセージカードをお届けすることになりました。

コロナ禍での再認識

新型コロナウイルスの脅威は、私たち楽友会にも大きな影響を及ぼしています。感染拡大により様変わりした社会と生活習慣。ご利用者の日常にも少なからぬ変化が生じ、職員もいつ終わるとも知れない不安を抱き、そして、事業運営も厳しさが増えています。

しかし、こうした厳しい状況で改めて確認できたこともあります。そのひとつはボランティアの皆さまがどれだけご利用者や職員の毎日に欠くことのできない存在だったのかということ。今は閉塞感の増した日々を過ごす私たちですが、一日も早くコロナが終息し、以前のように笑顔で皆さまに会える日を心待ちにしています。